

2018 年度保護者満足度調査結果

聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校後援会

2018年度大学保護者満足度調査結果

2018年度保護者満足度調査に多くのご意見・ご要望をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。大学では皆様からの声を真摯に受け止め、可能な限り対応するよう各学部・部門および全学的に検討をいたしました。その中でも、主なものについて対応方針や方法についてまとめましたのでご一読くださいますようお願いいたします。

また、ご意見・ご要望の他、満足度の高い様子が伺えるコメントもいただきましたので一部ですがP.12以降にご紹介いたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【実施時期】

2018年12月中旬～2019年1月14日締切〔1月4日（金）にリマインダハガキを送付〕

【実施方法】

当該調査の調査票のみを全保護者宛てに郵送。

アンケートの回答方法は返信用封筒による郵送、自宅学生によるアンケートの持参もしくは携帯電話やパソコン・スマートフォンからのインターネットでの回答。

【調査対象】

全学部学科1～4年次生の保護者 計1,371名

【回収率（大学全体）】

| 全体 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 学年不明 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 回答数 | 238 | 195 | 185 | 170 | 3 | 791 |
| 回収率 | 68.8% | 57.4% | 55.7% | 48.2% | — | 57.7% |

過去の回収数および回収率

| 全体 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2017年度 | 225 (65.4%) | 191 (56.8%) | 195 (56.9%) | 179 (49.9%) | 790 (57.0%) |
| 2016年度 | 221 (65.6%) | 200 (57.5%) | 174 (49.2%) | 152 (44.6%) | 747 (54.1%) |
| 2015年度 | 215 (61.4%) | 180 (50.7%) | 152 (44.9%) | 149 (41.2%) | 696 (49.8%) |

[回収率 (学部(学科)別)]

| 看護 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 不明 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|----|-------|
| 回答数 | 122 | 82 | 80 | 66 | 1 | 351 |
| 回収率 | 70.5% | 53.9% | 51.9% | 41.5% | — | 55.0% |

| 社福 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 22 | 19 | 19 | 16 | 76 |
| 回収率 | 62.9% | 57.6% | 52.8% | 45.7% | 54.7% |

| 介護 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 3 | 6 | 6 | 8 | 23 |
| 回収率 | 50.0% | 54.5% | 85.7% | 72.7% | 65.7% |

| こども | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 10 | 21 | 13 | 20 | 64 |
| 回収率 | 47.6% | 55.3% | 40.6% | 51.3% | 49.2% |

| 理学療法 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 36 | 23 | 29 | 23 | 111 |
| 回収率 | 76.6% | 51.1% | 65.9% | 59.0% | 63.4% |

| 作業療法 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 23 | 24 | 23 | 17 | 87 |
| 回収率 | 67.6% | 75.0% | 67.6% | 47.2% | 64.0% |

| 言語聴覚 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 22 | 20 | 15 | 20 | 77 |
| 回収率 | 73.3% | 69.0% | 60.0% | 58.8% | 65.3% |

※学部学科不明 2件

インターネットによる回答は 177 件 (全体の回答数の 22.4%)

2017年度～2018年度「保護者満足度調査」各項目の推移

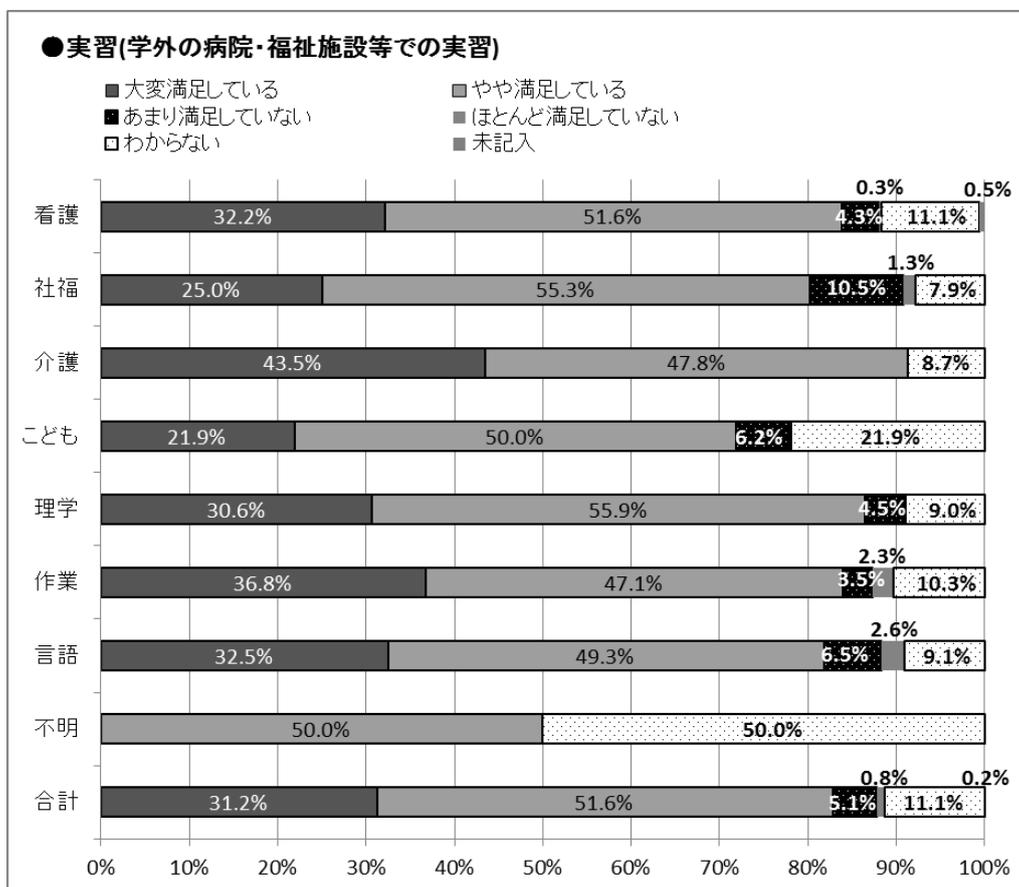
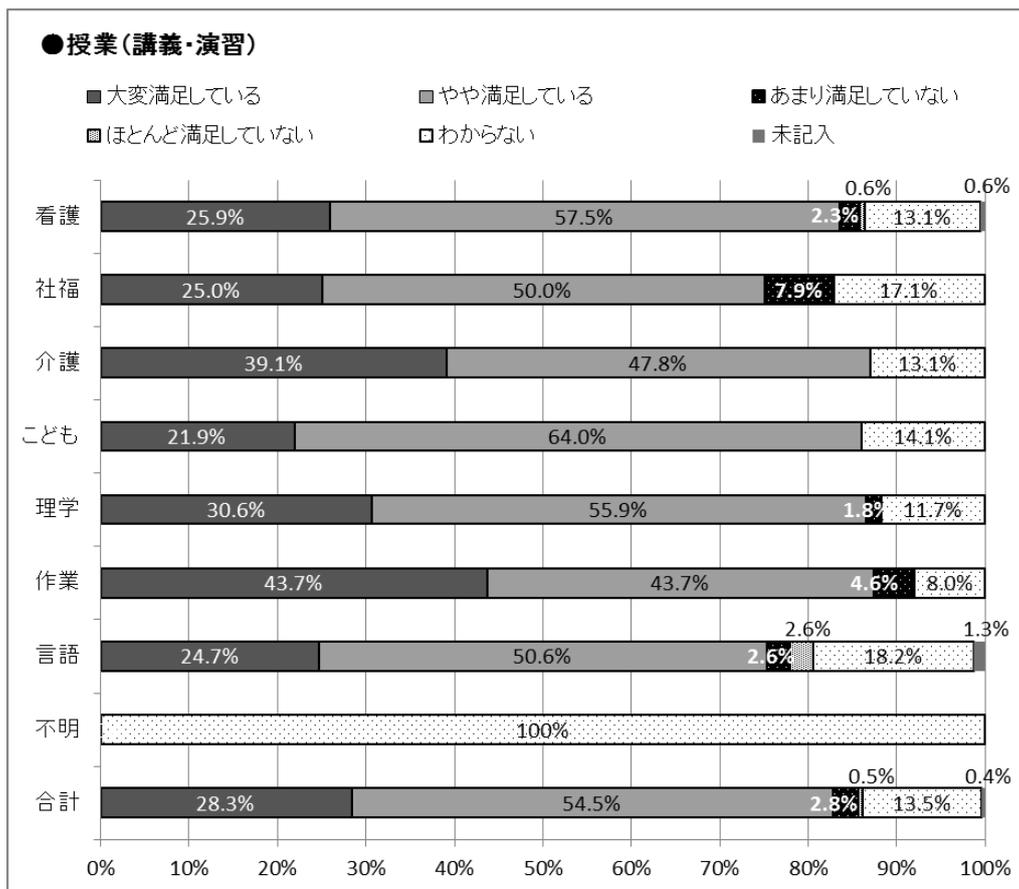
A=満足（大変満足している、やや満足している）

B=不満足（あまり満足していない、ほとんど満足していない）

C=不明（わからない、未記入）

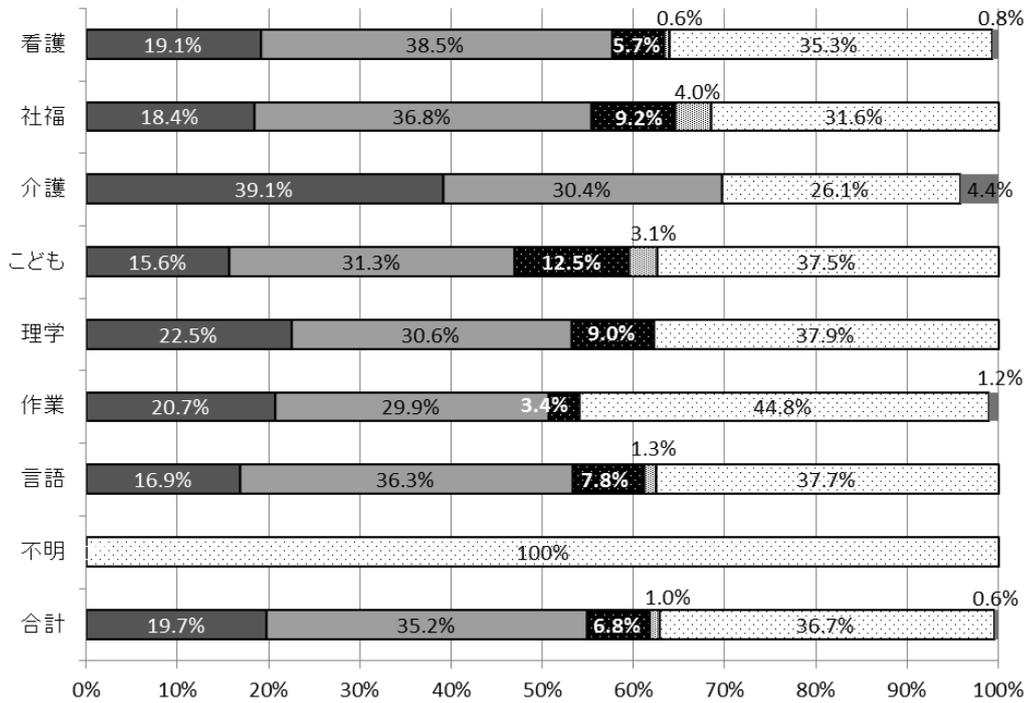
| 設問 | 2017年度 | 2018年度 |
|--|--------|--------|
| 総回答人数 | 790人 | 791人 |
| (1) 授業（講義・演習） | | |
| A 満足 | 81.0% | 82.8% |
| B 不満足 | 3.9% | 3.3% |
| C 不明 | 15.1% | 13.9% |
| (2) 実習（学外の病院・福祉施設等での実習） | | |
| A 満足 | 82.4% | 82.8% |
| B 不満足 | 4.9% | 5.8% |
| C 不明 | 12.7% | 11.4% |
| (3) 就職（活動）に対する支援・指導 | | |
| A 満足 | 55.2% | 54.9% |
| B 不満足 | 7.0% | 7.8% |
| C 不明 | 37.8% | 37.3% |
| (4) 国際交流活動（海外研修・海外総合評価等）に対する支援 | | |
| A 満足 | 36.1% | 39.1% |
| B 不満足 | 10.6% | 8.3% |
| C 不明 | 53.3% | 52.6% |
| (5) 心身の健康面に関する支援 | | |
| A 満足 | 67.2% | 70.3% |
| B 不満足 | 10.0% | 8.1% |
| C 不明 | 22.8% | 21.6% |
| (6) 学生・保護者からの相談への対応 | | |
| A 満足 | 70.3% | 56.3% |
| B 不満足 | 6.3% | 8.8% |
| C 不明 | 23.4% | 34.9% |
| (7) 奨学金・アパート・アルバイト紹介等学生生活に関する支援 | | |
| A 満足 | 52.5% | 51.5% |
| B 不満足 | 12.5% | 12.1% |
| C 不明 | 34.9% | 36.4% |
| (8) 事故防止・防犯への対応 | | |
| A 満足 | 65.4% | 64.1% |
| B 不満足 | 8.6% | 8.3% |
| C 不明 | 25.9% | 27.6% |
| (9) 教員の学生への接し方 | | |
| A 満足 | 78.4% | 77.8% |
| B 不満足 | 5.6% | 5.9% |
| C 不明 | 16.1% | 16.3% |
| (10) 事務職員の学生への接し方 | | |
| A 満足 | 62.4% | 65.6% |
| B 不満足 | 8.5% | 5.6% |
| C 不明 | 29.1% | 28.8% |
| (11) 本学の施設・設備 | | |
| A 満足 | 83.8% | 82.1% |
| B 不満足 | 9.4% | 10.1% |
| C 不明 | 6.8% | 7.8% |
| (12) 保護者として知りたい情報は本学から十分提供されていますか | | |
| A 満足 | 78.2% | 76.1% |
| B 不満足 | 12.7% | 15.2% |
| C 不明 | 9.1% | 8.7% |
| (13) 本学に対する総合評価（進学させてよかったかどうか） | | |
| A 満足 | 94.1% | 92.2% |
| B 不満足 | 2.7% | 3.9% |
| C 不明 | 3.3% | 3.9% |

問. 大学の教育や学生生活等の支援について保護者として満足していますか。



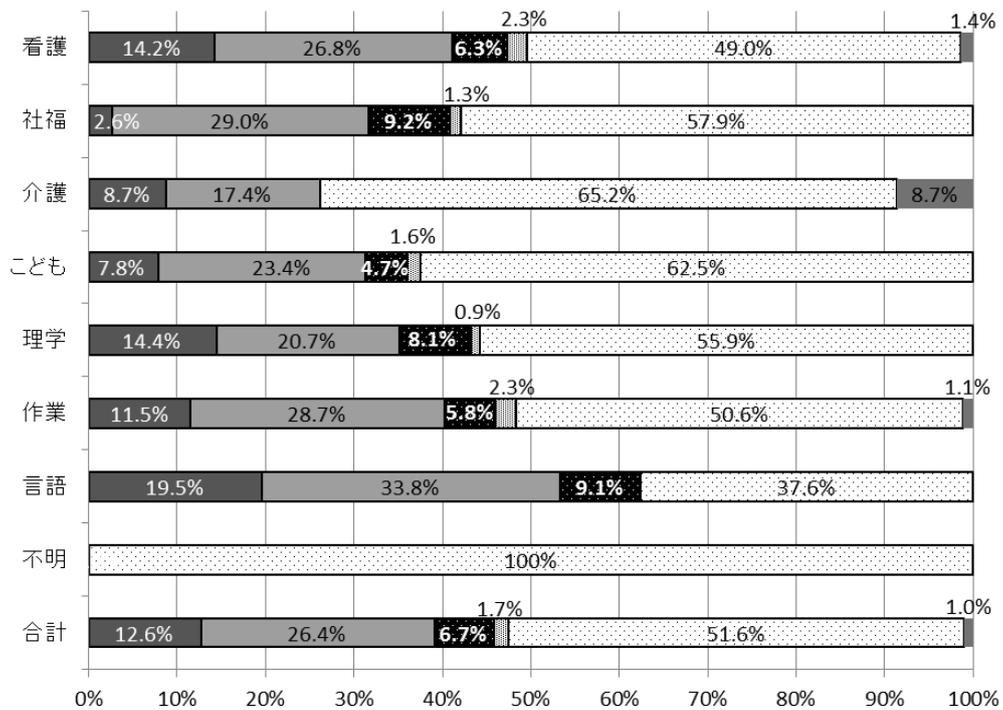
●就職(活動)に対する支援・指導

■ 大変満足している ■ やや満足している ■ あまり満足していない ■ ほとんど満足していない □ わからない ■ 未記入

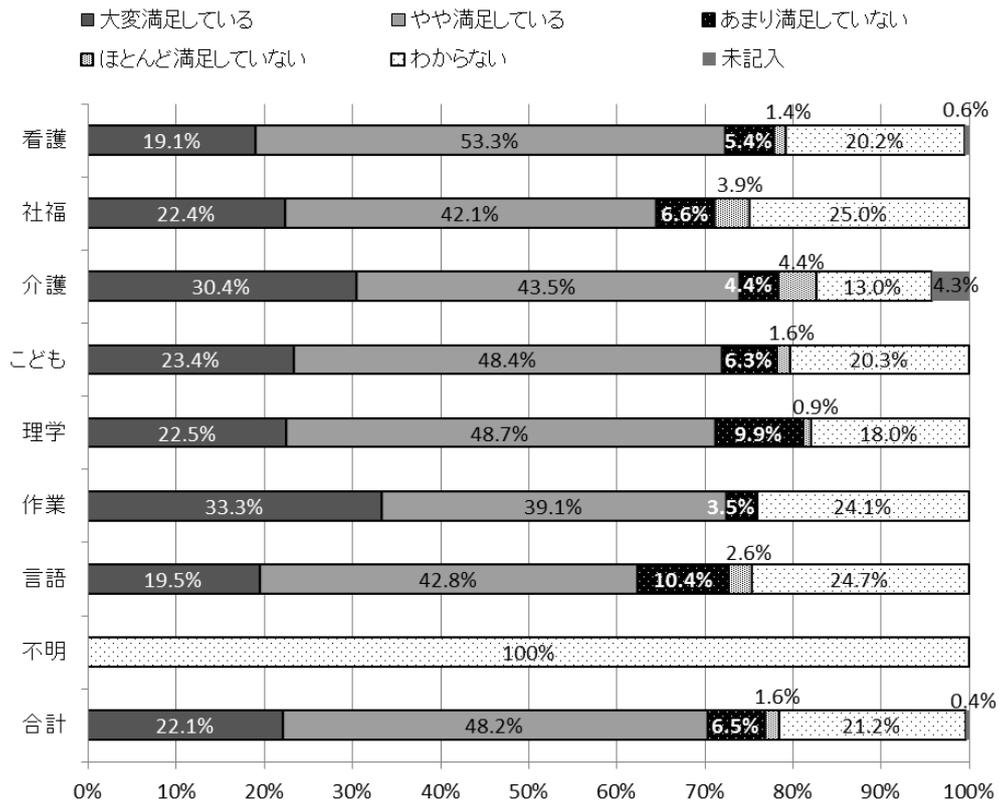


●国際交流活動(海外研修・海外実習等)に対する支援

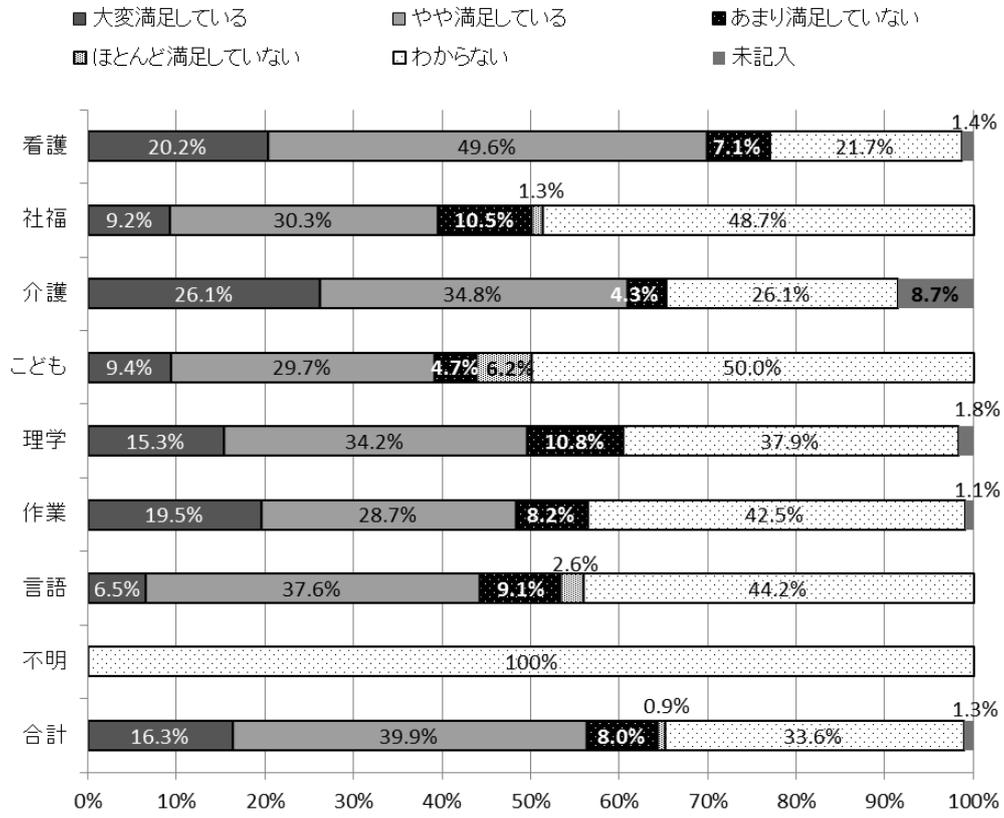
■ 大変満足している ■ やや満足している ■ あまり満足していない
 ■ ほとんど満足していない □ わからない ■ 未記入



●心身の健康面に関する支援

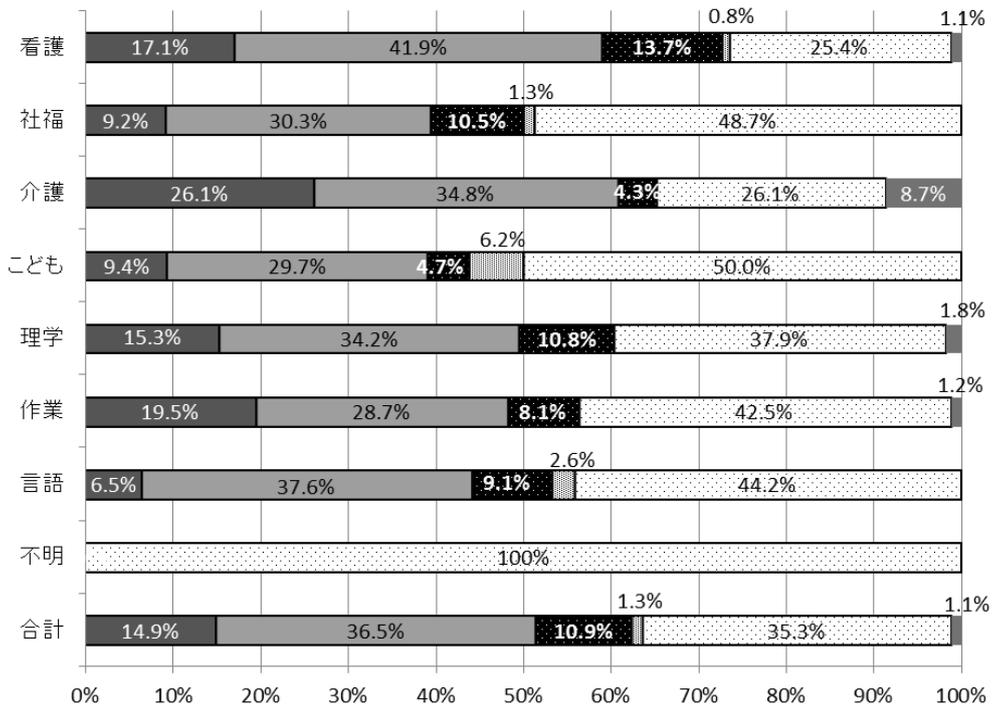


●学生・保護者からの相談への対応



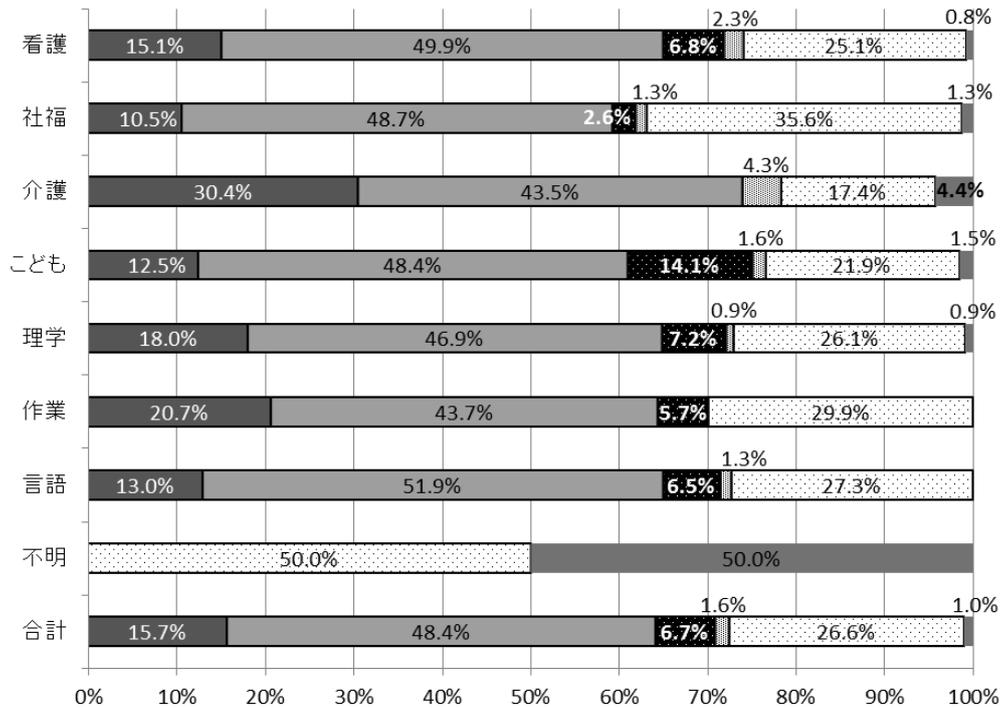
●奨学金・アパート・アルバイト紹介等学生生活に関する支援

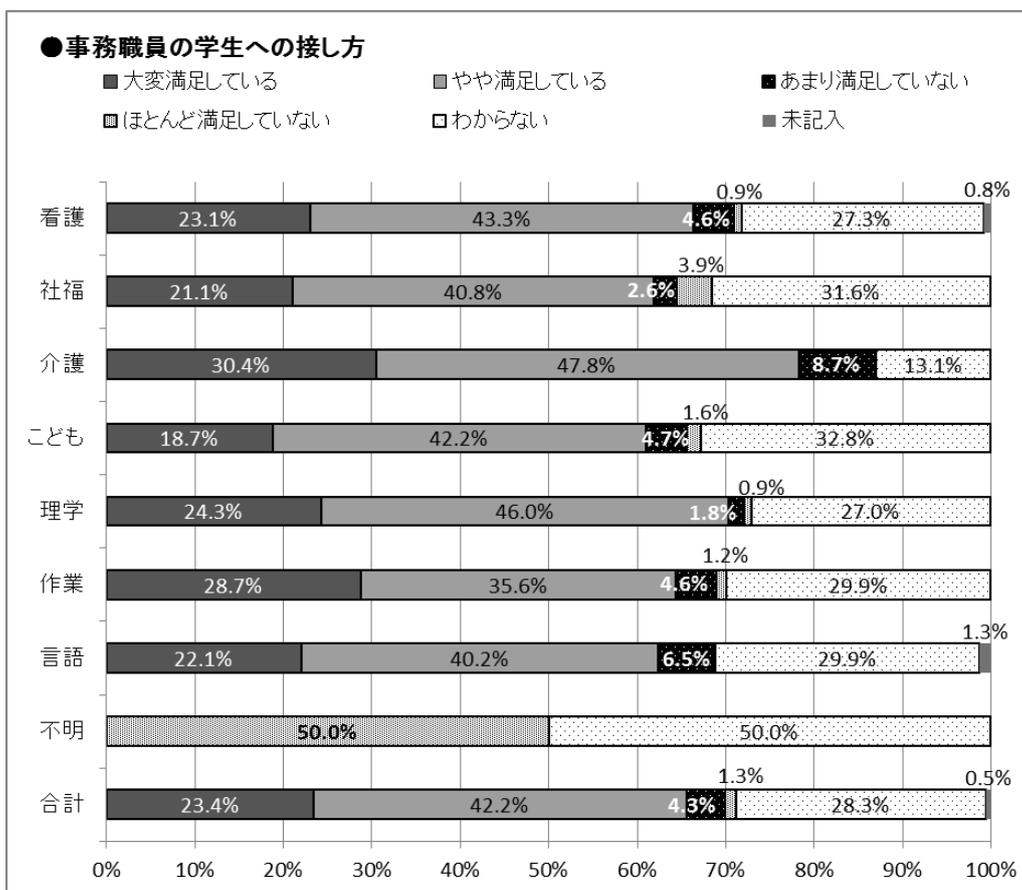
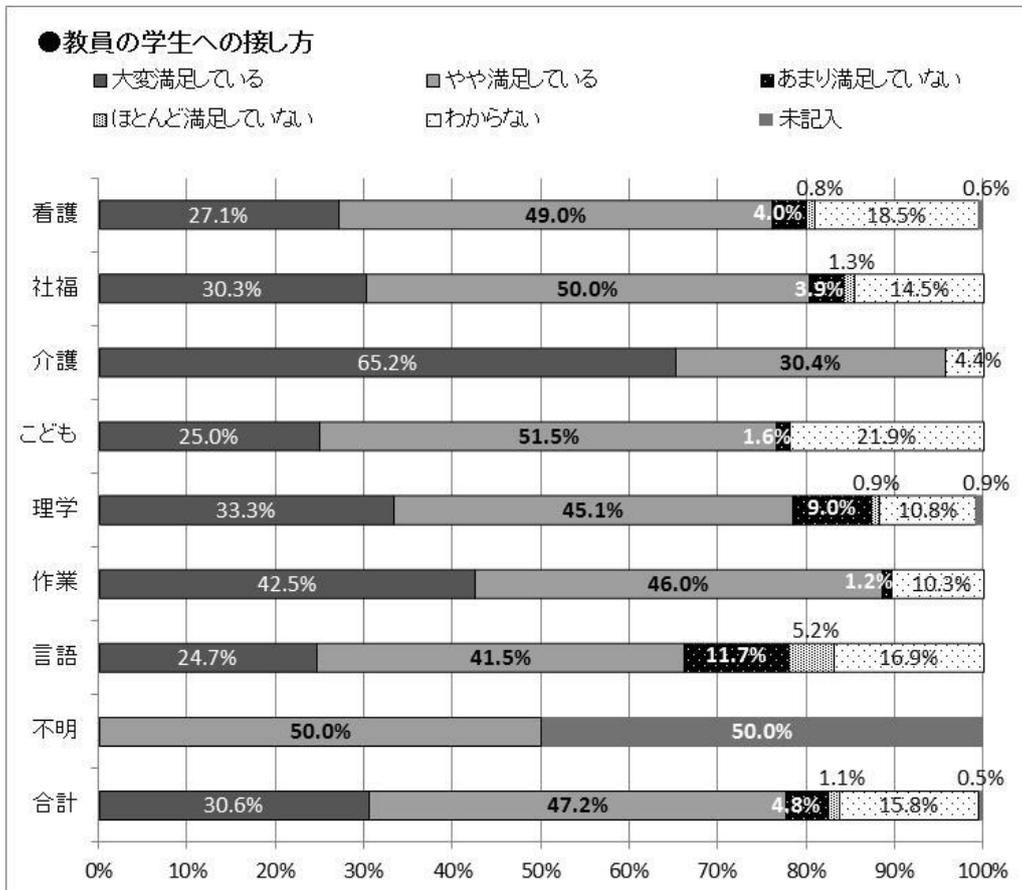
■大変満足している ■やや満足している ■あまり満足していない
 ■ほとんど満足していない □わからない ■未記入

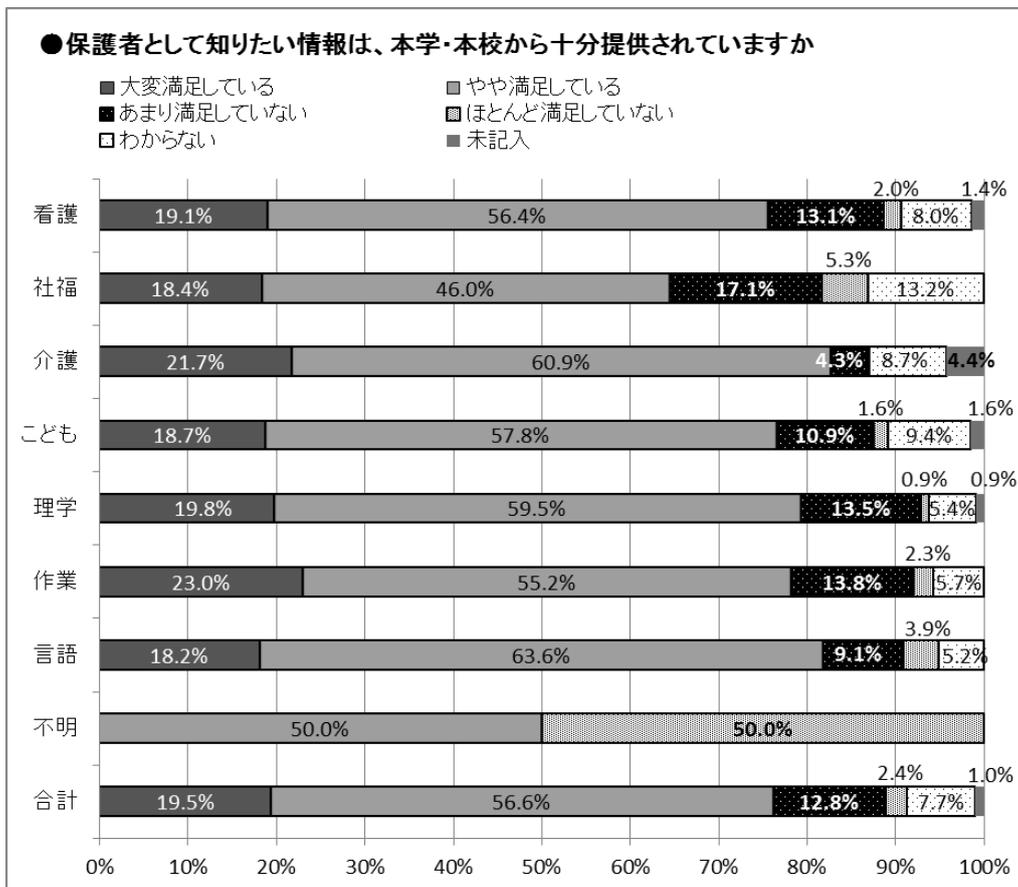
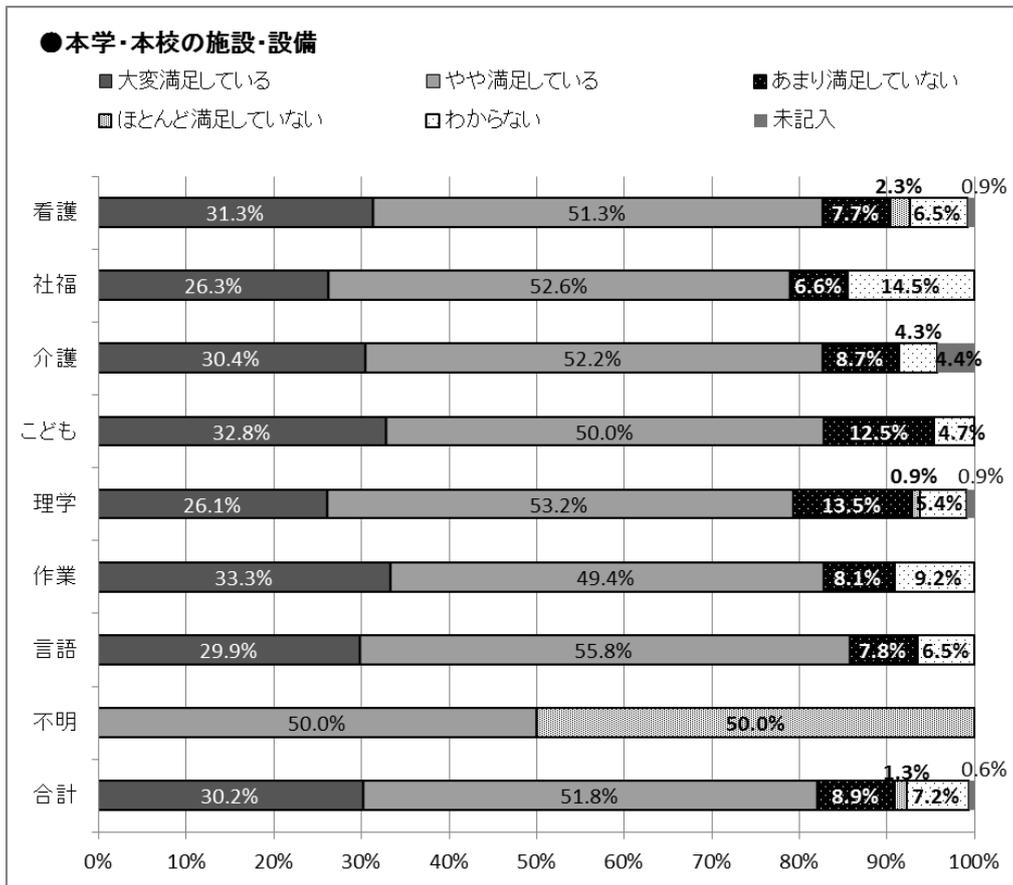


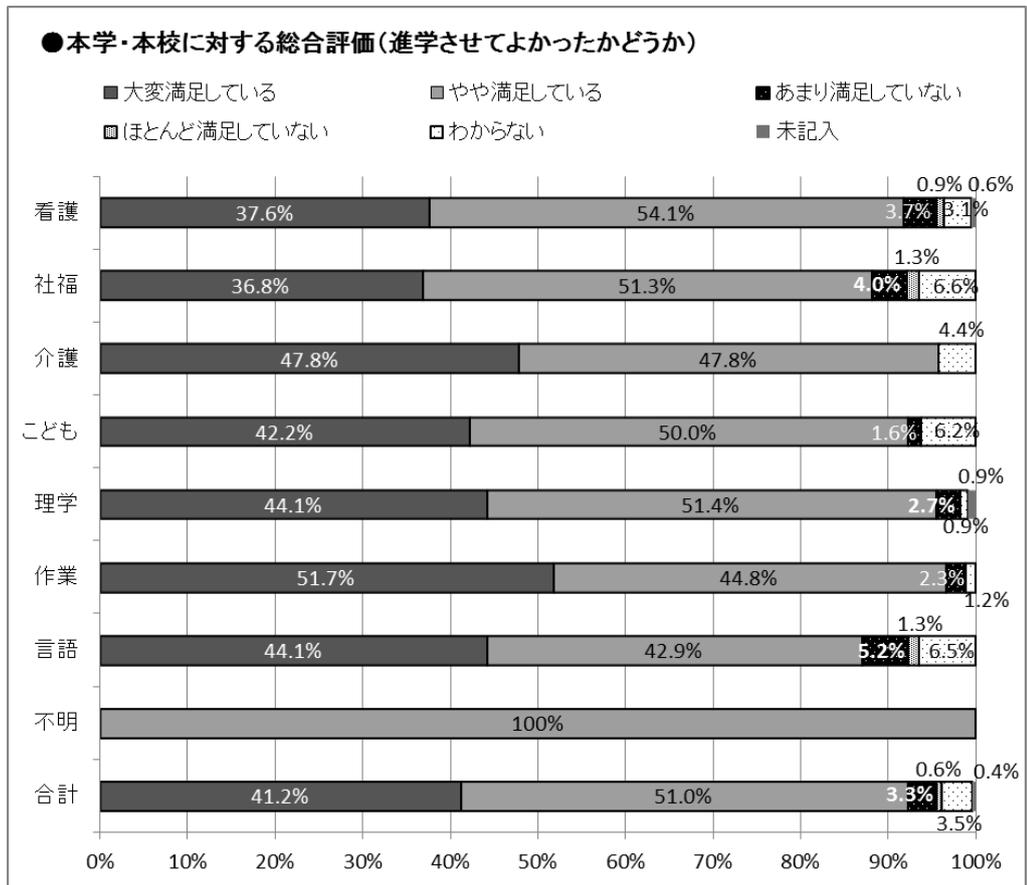
●事故防止・防犯への対応

■大変満足している ■やや満足している ■あまり満足していない
 ■ほとんど満足していない □わからない ■未記入

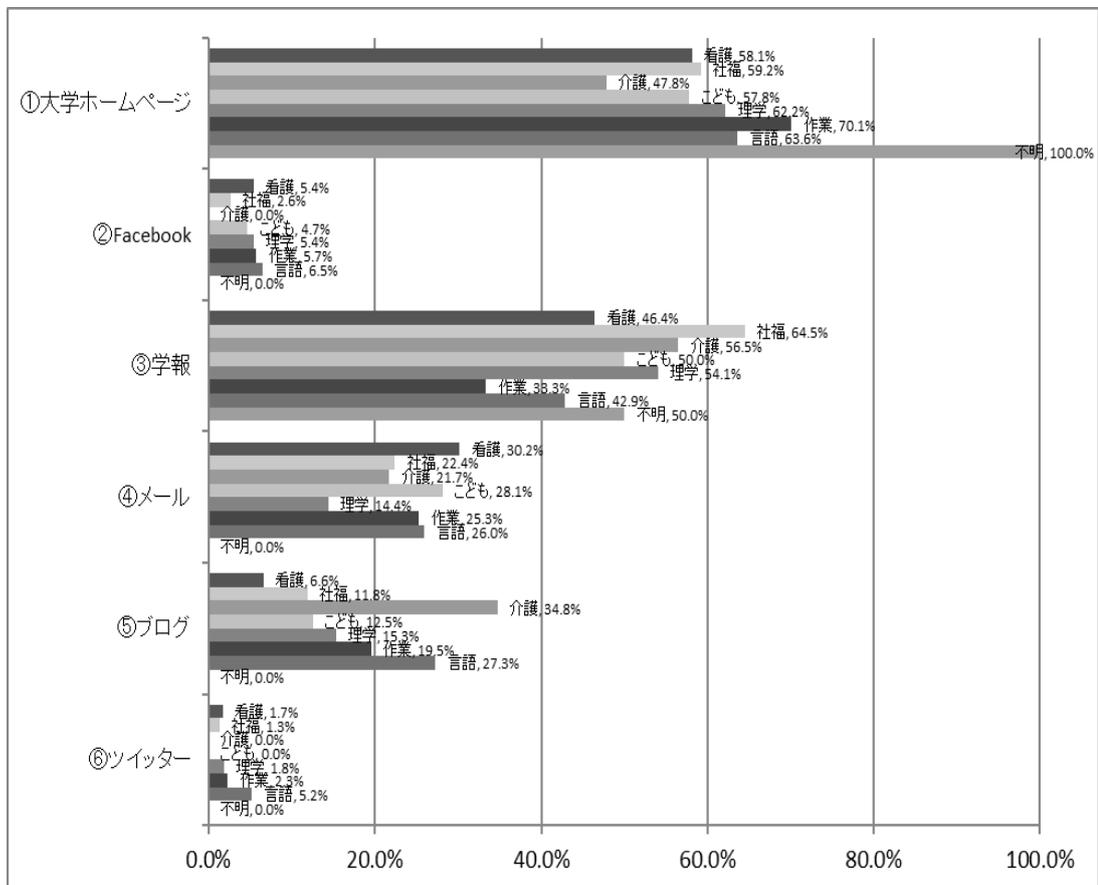






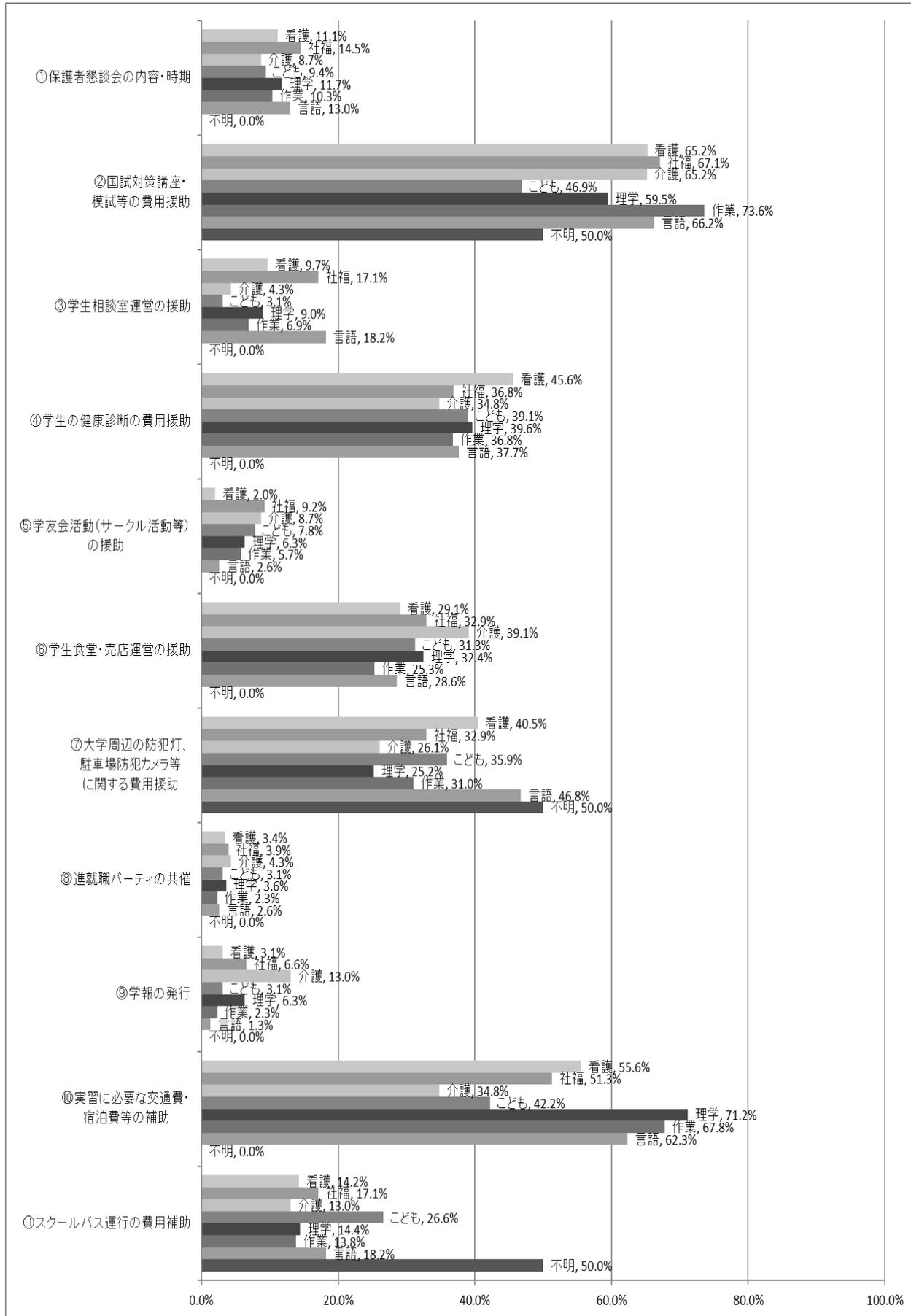


問. 大学から発信される情報を得るのに利用しやすい手段はなんですか。(複数回答可)



問. 本学後援会では下記の事業を行っています(行う予定でいます)が、より充実させてほしいことは何ですか。

(複数回答可)



【自由記述より一部の紹介】 ※学年は 2018 年度時点

- ・演習の自主練習をする際にも交代で教員が滞在していて、適宜指導をしてくれたと聞き、ありがたく思いました。また、学生の成長を喜んでくれる先生が多いと聞いています。〔看護学部/1年次生〕
- ・実習に行かせて頂いて実際の現場を見てきたこと、一人の患者様を担当させて頂き、その患者様について考え悩んだこと、大変勉強になりとても成長したと思います。加えて実習レポートを丁寧に対応し添削して頂いたようで教員の先生にも感謝です。〔看護学部/2年次生〕
- ・海外の現場を見学できたことで看護師の働く環境、日本だけでなく海外で働くという選択も増えたようです。視野も広くなり夢は大きくなったようです。引率の先生にもとても良くしていただき感謝しています。ホームステイ先からも電話をいただきとても安心できました。〔看護学部/2年次生〕
- ・悩んでいる時に保健師の先生、カウンセリングの先生、担当の先生、皆さんが連携して子供の心のケアをしてくれる。子どももそれで安心していきます。〔看護学部/3年次生〕
- ・先生が毎日赤ペンを入れて実習簿のご指導をしてくださり感謝しております。いろいろと丁寧に子どもにご指導してくださいました。実習中に先生方がサポートしてくれたことが支えとなり全ての実習を乗り切ることができました。ありがとうございました。〔看護学部/4年次生〕
- ・授業用のレジュメやパワーポイントを使つての授業が分かりやすくレジュメに先生がご指導してくださる内容を直接書き込めて自分のノートになった。またテスト前に見直すことができとても役に立った。4年間の授業のおかげで国試の勉強につながり難しい国試対策も順調に進められた。〔看護学部/4年次生〕
- ・就職先で迷っている時、先生方の色々な経験から得たであろうアドバイスによって、勇気を与えられたようでした。それが自信となり、無事希望する所に内定が決まる事が出来ました。〔看護学部/4年次生〕
- ・スクールバスでお世話になっております。自宅からの通学で1時間目から授業がある時は早く家を出発して遅く帰宅する事もありますがバスがあるおかげで時間の使い方を自分で考えているようです。〔社会福祉学科/1年次生〕
- ・総合病院と福祉施設が近隣にあり、こども園から大学までが一箇所に集約されて相互連携されていて、しっかりと将来を見据えた教育が受けられる体制に対して進学させたことへの満足感が高いです。〔こども教育福祉学科/2年次生〕
- ・各地で災害があった時等アンピックで一人一人の安全の確認をして下さり感謝しています。先生からのメールもいつも事務的でなく心の温まる内容で嬉しく思っています。〔こども教育福祉学科/2年次生〕
- ・就職に対して先生方に相談している様子を良く聞きます。相談でき信頼できる先生がいることで安心しております。〔社会福祉学科/3年次生〕
- ・地元に戻って就職したいという希望にそって実習先や就職先を探して下さい大変感謝しております。〔介護福祉学科/3年次生〕

- ・教員と学生の距離が近く、気配り目配りがしっかり出来ているように感じる。子どもとの会話、様子から判断すると講義や実習等満足している。益々のレベルアップ、誇れる大学を目指し学校、教員、学生の努力を期待する。〔こども教育福祉学科/3年次生〕
- ・卒業時の資格取得のために、系統立てて講義、演習がプログラムされており、他大学に進学した子どもさんに比べて、充実した学生生活を送っていると感じている。〔こども教育福祉学科/4年次生〕
- ・海外研修は大学に入ってすぐだったこともあり最初は不安だったようですが事前学習も充実しており先生や先輩達の接し方も良く思い切って参加してよかったと話してくれています。違う学科、年齢の方達との交流が持て今でも仲良くしていただいているようです。〔理学療法学科/1年次生〕
- ・1年次から実際に病院などの研修を経験できるのは将来の仕事について考える上でとても意味があると思います。〔作業療法学科/1年次生〕
- ・レポート作成や勉強方法等、不安な事は都度相談に乗っていただいています。本人も信頼できる先生の下で意欲的に勉強が出来ます。安心して送り出す事が出来ております。〔言語聴覚学科/2年次生〕
- ・専門知識を習得する必要に迫られている中、OSCEや実習の話を知っていると、高いレベルで技術や知識などを身に付けていると感じています。将来のビジョンがしっかりしているので一生懸命勉強している姿を見て先生方のご指導のおかげだと思いました。〔理学療法学科/3年次生〕
- ・子どもがどこの病院に就活をしようかと悩み、なかなか行動に移せずにいたところ何人もの先生からお声をかけていただいたり、お時間を作って相談にのっていただきました。おかげでじっくりと自分自身を見つめ直し就活に取り組みました。〔作業療法学科/4年次生〕
- ・実習の前から実習中、実習後、全般に渡りご指導のきめ細やかさに驚きありがたく思いました。本人にとっても素晴らしい経験になった様です。〔言語聴覚学科/4年次生〕

[意見・要望に対する回答]

I. 学部・学科

【看護学部】

看護学部では看護学実習（以下、実習）に関するご意見が多く寄せられていました。実習は、病院や地域の施設・支援センター等の臨地で行われ、学生にとって貴重な体験学修の機会となっています。一方、実習では、対象となる患者・利用者の方々の生命や健康に関わるため、専門的知識・技術・態度を身に付けていく厳しさも求められています。そのため、教員は、学生が学修を積み重ね安心して実習に臨むことができるよう、指導方法や内容を検討しております。また、大学と実習施設が協調して学生指導にあたるよう話し合いを通じて相互理解を深め、実習指導の質を向上させていきたいと考えています。

学内での講義・演習は、学生が自ら学ぶ喜びを体験できるように、文部科学省が推進しているアクティブ・ラーニングを導入して、学生一人ひとりの学修の成果に繋がるように教員が一丸となって取り組んでいます。国家試験においては合格率 100%を目指して教員一同指導に当たっています。

(意見) 実習病院・施設、担当教員の格差があるのではないか。

(回答) 学生の実習目標が達成できるよう教員間で指導方法等を共有しておりますが、患者・利用者の方々の状況等で、指導に違いが生じることもありますので、学生が納得できるように説明を行います。学生が臨地の看護職や教員の指導・対応に問題を感じた場合には、まずは学生がその状況をアドバイザー教員などに相談してください。教員は学生の立場に立って、その時の事情や受け止め方を誠実かつ真摯に聴かせていただきます。

(意見) 「基礎看護学実習」では実習期間に間があり、同じ患者を続けて関わらせてもらうことが少ない。

(回答) 2018 年度入学者から、基礎看護学実習は継続した実習期間に変更しています。

(意見) 実習地の配置について、居住地を考慮して実習地域の配置を考慮してほしい。

(回答) 2 年次の「地域保健実習」は、実習場が県内に分散し、全員の居住地に考慮することができない状況をご理解ください。なお、4 年次の「公衆衛生看護学実習」では、居住地や実家の住所を調査し、学生が通いやすい実習場を配置するように努めています。

(意見) 国家試験の対策が不十分ではないか。

(回答) 国試対策については、学習の不十分な学生には個別の面談・指導を行っています。多くの学生は 4 年次後半には自主的に大学に来て、学内の国試対策用の Web 学習ソフトの利用や友人と協力して個々の学習進度に合わせて主体的に学習しています。大学は自ら学ぶところで、本学部では学生の主体性を尊重して指導し成果をあげています。メンタルサポートも行っており、担当教員はいますが、どの教員でも相談してよいと学生に伝えています。

【社会福祉学部】

授業や学生に対する対応で満足というご意見を頂きました。一方、実習や就職に関して、満足度が低い学科ありました。科目によっては、教員間の統一した見解が無いのではないのか等、教育の質に対する意見もいただきました。この点に関しては、教員研修等を通じて改善を図っていきます。

(意見) 実習配属はどのように決定するのか。

(回答) 実習の配属先は学生の状況や実習先希望を考慮しながら決めていますが、学生全員に満足していただくには至っていません。より適切な配属先の決定に心がけますが、全員が満足することには限界があることも御理解をいただけますようお願いいたします。

●社会福祉学科

(意見) 寝てしまうような講義では困る。学生が興味をもてる講義の工夫が必要ではないか。

(回答) アクティブ・ラーニングの実施を徹底するとともに、そのための研修会を実施し教育の質の向上を図っていきます。

(意見) 教員によって学生への接し方が不公平である。

(回答) 教員は学生全員に公平に接するよう心がけております。このようなご指摘がありましたことは残念ではありますが真摯に受け止め、学部内で共有し注意してまいります。

●こども教育福祉学科

(意見) 器楽Ⅰの担当教員によって進度のレベルの違いがある。教員間で統一して欲しい。

(回答) 器楽Ⅰは年度初めのオリエンテーション時に「ピアノレッスンについて」というガイドラインを提示して説明をしております。1年次後期の最終レッスンまでの目標と進捗表が各学生に配布され、それに従って、科目担当者全員がレッスンを進めています。担当者打ち合わせを年2回開催し、情報共有を図っています。指摘されたことにつきましては、担当教員たちで話し合いをしながら改善していきます。

【リハビリテーション学部】

●理学療法学科

理学療法学科では、学年ごとにアドバイザー教員を配置し、さらに小グループにも担当教員を配置し、きめ細かい指導をしています。授業や実習での学びが心配な学生にはアドバイザー教員を中心に、個別指導を行っています。就職試験においても、エントリーシートの書き方、面接試験の練習など、丁寧に指導をしています。

当学科では、学生が積極的に授業に参加する能動的な学びであるアクティブ・ラーニングを推奨しています。近年では、地域高齢者や高校スポーツ選手を支援する地域実践型アクティブ・ラーニングも取り入れています。臨床実習前後の実技試験では、学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表（ルーブリック）を用いて評価しています。

（意見）グループワークにおける学生間の人間関係の問題や学生負担の偏りがあるのでは。

（回答）アクティブ・ラーニングは、グループワークを中心に課題をまとめ、グループでの発表や実技を行い、ディスカッションを行っています。この学習では、周りの人との連携や協働作業を行います。グループワークなどで積極的な学生は臨床実習施設での評判も高く、就職試験でも競争率の高い病院で内定をいただいています。グループワークでの学生同士の関係構築が難しい、消極的な学生に対しては、役割分担を指導するようにし、自己成長を実感できるよう指導していきます。

（意見）臨床実習前後の実技試験の評価のばらつきと不合格者への指導について

（回答）臨床実習前後の実技試験では、学生は事前にルーブリックを確認しており、到達すべき課題を理解したうえで試験に臨んでいます。教員もルーブリックを用いて実技試験を評価し、実技試験後には判定会議を行い、ばらつきがないよう摺合せを行っています。不合格となった学生については、動画による確認と実技指導を行っています。

以上のように、学科として個々に応じた指導を心がけていますが、説明不足や学生によって様々な受け止め方をしていた点があったかもしれません。より一層、丁寧な対応を心がけます。

●作業療法学科

作業療法学科では、授業においてはPBL（Problem-Based Learning）を中心に、学生自身が主体的に考え、問題解決していく力を養うことを目的とした授業展開をしています。学生支援においては、学修面や生活面等において不安を抱えている学生を、教員が早期から把握できるよう努め、アドバイザーを中心に、個別指導を行っています。また、教員が行っている学外における地域支援等のボランティアへの参加に誘い、現場を感じてもらい作業療法のイメージを促すことで、学修等へのモチベーションを高められるよう支援しています。

（意見）2年次生でも実習があると良い（1年次にあるが、その後いきなり3年次で大丈夫なのか）。また、実習先により課題や対応も異なり、施設における実習体制をチェックしてほしい。

（回答）現在、2年次における実習を検討中です。また、実習体制につきましても、適切な実習が行えるよう施設内における実習時間の見直しや課題時間の確保等において、ご協力が得られるようお願いしている状況です。

(意見)わかりにくい授業がある。一部の学生に合わせて展開されているのではないか。

(回答)授業については、FD 研修(学生にとって適切な教育をするための組織的な取り組み)やピアレビュー(教員同士がお互いの授業を公開し合い、授業内容や方法について検討、評価し合う)、授業評価等を行っており、学生にとって理解しやすい教育ができるよう日頃より努力しております。今後も学生の理解度を詳細に確認しながら、わかりやすく、主体性を促すような授業を展開できるよう努力していきます。

●言語聴覚学科

言語聴覚学科では実習、国際交流活動に対する支援など項目の満足度が比較的高かった一方、授業、心身の健康面に関する支援、教員の学生への接し方などの項目は満足度が低い結果となりました。以下、自由記述欄にお寄せ頂いた「新カリキュラム」「実習先の決定」「教員の学生に対する接し方」「卒業生の国家試験対策」等の課題への対応について述べさせていただきます。

(意見) 新カリキュラムについて

(回答) 本学の新カリキュラムは、授業に対する事前・事後学修により能動的な学修態度を養い、他者との連携・協働作業を通じて臨床に不可欠な協調的態度を学ぶことを図っております。グループワークなどで積極的な学生は臨床実習や就職でも高い評価を得ています。

(意見) 実習先の決定について

(回答) 実習先は、学生の興味関心・個性と、実習先の病院・施設の対象領域や指導体制・内容を鑑み、個々の学生の臨床能力を高める最適な組み合わせとなるように検討しています。また、3 回の実習を通じて、様々な対象領域や機能種別の病院・施設を経験できるようにしています。高度先進医療機関での実習については、県外の大学病院等に依頼しています。今後、関連病院や卒業生等に協力を依頼し、近隣の実習先の確保に努めていきます。

(意見) 教員の学生への接し方について

(回答) 実習や臨床現場で働くにあたり、学生一人ひとりに応じた課題や目標があります。そのため教員は個々に応じた指導を心がけていますが、学生によって様々な受け止め方をしていたのかも知れません。今後は、このようなことを考慮して、指導時の言動や伝え方に配慮した指導を行っていきます。また各学年には2名のアドバイザーがおります。いつでも気軽にどのようなことでもご相談ください。

(意見) 卒業生の国家試験対策について

(回答) 卒業と同時に国家試験に合格することを目標としていますが、万が一、国家試験が不合格だった場合でも、次年度の合格を目指して、4月から試験対策をフォローしています。教育環境の利用や対策講座、模擬試験、学習相談面接や情報・資料提供など、合格までの受験支援を、個別の状況に合わせて行っています。

Ⅱ. 全学関係

【就職について】

特に3年次生以下の保護者様より、就職に関する情報が少ないというご意見をいただきました。保護者の方は大学報、大学ホームページ内のキャリア支援センターホームページ、WEBキャリア支援センターで就職支援プログラムの様子や求人票（パスワードが必要なためお問い合わせください）がご覧いただけますので、ぜひご活用ください。

求人に関する情報提供につきましては、求人情報配信システムを導入しており、保護者の方もご登録いただきますと求人があった際にメールで情報をお届けします。また就職活動の時期につきましては「就職ガイドブック」抜粋版を同封しましたので、ご覧ください。

【Wi-Fiの更なる充実について】

在学生対象満足度調査においてもWi-Fi環境の充実を求められました。2018年9月に2号館1階学生ホールに400台、2階学生ホールに100台、5号館2階ラウンジに100台のスマートフォンが接続できる「学生用Wi-Fi」を、またすべての教室・演習室に「学習用Wi-Fi」の拡張・増設を行いました。これにより、Wi-Fi環境は大幅に改善され、接続台数のモニタリングからもストレスなく使用ができていると考えています。これから、ICT機器を使用したアクティブ・ラーニングの授業や、各学部でのパソコンの必携もしくは推奨、eポートフォリオの導入も計画されていることから、パソコンを使用する機会や頻度がますます増えてくると思われまます。学生用Wi-Fiの利用は、学習のための使用を中心をお願いしています。

【スクールバスについて】

2018年度は、スクールバスは観光バスタイプの大型車両を2台導入し、全員が座って乗車でき、授業に支障のないように往復の発車時刻を設定してきました。2019年度は乗車希望者が増えたため、5月中旬から大型バスを1台追加し計3台のスクールバスを運行しています。また毎年度、スクールバスの利用状況と運行経費などを確認し、適切なバスの配置台数や運行時間の見直しを行っています。会員の皆さんの会費と限られた予算や資源の中での運行となっていますので、ご理解とご協力をお願いします。

【奨学金について】

奨学金の説明会は毎年4月に行っています。この説明会の日時は新入生オリエンテーション、在学生ガイダンス時に全学生にプリントでお知らせしています。この説明会には保護者の皆様にもご参加いただけます。毎年数名ですが、ご参加いただいています。

また、いつでもご説明しておりますので、学生サービスセンターの担当者にお電話（053-436-1125）やメール（service@seirei.ac.jp）でご連絡ください。

【防犯対策について】

近隣に福祉施設が複数あり夜間は特に静かであることや、周辺に民家が少なく人通りも少ないことなどから、特に夜道は不安になられるかと思えます。キャンパス周辺、特に駐車場に向かう道路は、数年前から街灯の増設とLED化により以前よりも明るくなりました。また、すべての駐車場には、防犯カメラを設置しています。今後、継続して防犯対策について検討を重ねてまいります。

【海外研修について】

海外研修はシンガポール・中国、初めてオーストラリアへ、国際専門研修はアメリカ・シンガポールへ、国際実習はシンガポール・タイ・中国へと派遣し、9プログラムに73名の学生が参加しました。学生が参加しやすくなるように、日本学生支援機構の奨学金を獲得し、また聖隷クリストファー大学同窓会より、同窓会海外研修奨学金の支援を受けています。研修等の開催時期は、できるだけ多くの学生が参加しやすい時期を選んでいきます。海外研修に行くだけでなく、交流協定締結校からは外国人研修生が来学し、交流会の開催やホストファミリーとしての学生受け入れなどの国際交流活動を行っています。

(意見) 海外研修の情報が少ない。

(回答) 海外研修の各プログラムについては、グローバル教育推進センターホームページやブログで随時紹介しています。また、「国際交流パンフレット」を4月の新入生オリエンテーション・在学生ガイダンスや保護者懇談会時等に配布し、広報に努めています。今以上に海外研修・国際実習の情報をわかりやすくお伝えできるよう改善していきます。

(意見) 海外研修の選考に落ちた理由を教えてください。

(回答) これまで個別の理由にはお答えしていませんでした。これは希望者が同学科同学年となることが多いことから、学生の関係性を配慮してのことです。選考は、普段の学修状況と合わせて2名または3名の教職員が面接を行います。評価の視点については、「国際交流に関する関心・興味」、「国際交流に対する積極性」、「英語コミュニケーション能力」、「目的、目標指向性」、「学習の主体性」、「成績(GPA)」等となります。

(意見) 海外研修時の予防接種費用の負担額が少なくなるよう大学で支援してほしい。

(回答) 本学としては、できるだけ研修費を少なくできるよう、安価な移動手段や宿泊施設の確保等に努めていますが、海外での研修ですので、予防接種費用も含め十分な安全性を確保する必要があります。そのために、現在の研修費になっていることをご理解お願いいたします。特に、予防接種は研修・実習先の国や病院から求められる種類が異なること、また個々の状況によっても異なることから、学生個々にお問い合わせをしています。

この報告書についてのご意見、お問い合わせは下記までお寄せください。
聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 後援会
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453
電話 053-439-1400 FAX 053-439-1406